

社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 22 年度第 2 回 議事録 ()

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 22 年 6 月 18 日 (金) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	高橋 邦夫	○	理事	安福 規之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	○	部員	岸田 潔	○
部員	関野 武志	×	部員	豊田 浩史	○	部員	西岡 英俊	○
部員	畠山 正則	×	部員	平井 貴雄	×	部員	利藤 房男	×
オブザーバー	寺本 邦一	×						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-22.2.0	平成 22 年度 第 1 回基準部会議事録案
資料-22.2.1	英文ホームページ改訂に関する希望調査依頼書等
資料-22.2.2	室内試験規格・基準委員会平成 22 年度名簿
資料-22.2.3	ISO 国内委員会平成 22 年度名簿
資料-22.2.4	ISO国内委員会改革素案
資料-22.2.5	理事会報告資料 [5/14 議事録案]
資料-22.2.6	平成 22 年度「重点 TC 等国際会議派遣事業」年度計画
資料-22.2.7	ISO 国内委員会報告資料 [月 17 日議題書]
資料-22.2.8	会員からの質問に対する対応—室内試験関係, D_{20} と透水係数の関係の正誤
資料-22.2.9	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [
資料-22.2.10	日本工業標準調査会標準部会・土木技術専門委員会報告 [5/10 開催議事録素案]
資料-22.2.11	
資料-22.2.12	
資料-22.2.13	
資料-22.2.14	
資料-22.2.15	
資料-22.2.16	
資料-22.2.17	
資料-22.2.18	
資料-22.2.19	
資料-22.2.20	
回覧資料-1	日本工業標準調査会標準部会・土木技術専門委員会報告 [5/10 開催資料]
別添資料-2	

1. 前回議事録の確認

(資料-22.2.0)

前回議事録を承認した。

2. 全体関係

継続審議、正副会長会議報告 (1) 日下部会長からの提案

① JGS 基準の JIS 化の促進

趣旨：ISO 等の活動をする場合、JIS 化促進が必要であること。

基準の維持管理費用の軽減対策。

JIS 化できないようなマニアックな JGS 基準作成への歯止め。

JIS 化促進の意義、基準作成と維持管理にかかる費用、マニアックな基準は何をさしているか、基準化のプロセスについて議論がなされた。基準作成担当者の意見もフィードバックする必要があるとの判断から室内試験規格・基準委員会および地盤調査規格・基準委員会に持ち帰り、意見を取りまとめていただくこととなった。

② 基礎設計・施工基準の促進

・協会レベル、民間会社作成の基準を、学会が認定する活動を促進する。特に地盤改良、杭施工、地質調査関係の協会を調べ、可能性を検討する。外部資金獲得、関連協会との連携促進にも寄与しうる。

学会がこれまでに認定した民間作成基準の実績についてまとめて、正副会長会議にて報告することとなった。地盤設計・施工基準委員会において、新委員長のもと上記の会長の提案を盛り込んだ活動方針を検討する。

③ ISO 活動への資金獲得

・国、企業団体等に ISO 活動の重要性を訴え、財政的支援をうる努力をする。会長名での依頼状を作成・配布する。依頼状には、建設業の海外展開等の視点からの ISO 活動の必要性、地盤工学会の実績等、他の産業、例えば建設機械分野の ISO 活動との比較等を記載。

④ CEN のアジア版組織の構想

・政治家への働きかけとして、実行可能な構想を提示。

③、④について ISO 国内委員会に持ち帰り、意見をとりまとめる。国、企業団体等への ISO 活動の重要性を訴えて、さらなる財政的支援を得られるような方策を検討する。また、これまで地盤工学会の ISO 活動の実績をまとめた ISO レポートやプレゼン用スライド等を持参できるように整理する。

(2) 英文ホームページ改訂に関する希望調査

(資料-22.2.1)

英文ホームページ改訂にあたり基準部として以下のことを希望する。

・学会基準リストを HP に掲載し、公開可能な基準から順次、ダウンロードできるようにする。
・基準部の活動内容を HP に積極的に掲載していく。具体的なコンテンツは各常設委員会で精査するものとする。

上記について西岡委員より総務部広報委員会に報告する。

3. 委員等の異動

理事会報告 (1) 室内試験規格・基準委員会

①平成 22 年度の構成

(資料-22.2.2)

委員の構成を承認した。

理事会報告 (2) 地盤調査規格・基準委員会

WG9 川越氏 (JR 総研) の委員追加を承認した。

理事会報告 (3) ISO 国内委員会

(資料-22.2.3)

①委員長：木幡 行宏 委員長 → 大谷 順 氏 (熊本大学)

審議済

②幹事：岸田 潔 幹事 → 宮田 喜壽 氏 (防衛大学校)

※木幡、岸田 両名は、委員として残る。

③委員の交代：今村 聡 委員 → 浅田 素之 氏 (清水建設 (株))

理由：TC190 国内専門委員会の幹事交代のため

①～③の交代を承認した。

理事会報告 (4) ISO/TC182 国内専門委員会

・委員長：木幡 行宏 氏 (室蘭工業大学)

※足立格一郎委員長退任より委員長代行を努めていただいていた。

委員長就任を承認した。

理事会報告 (5) 室内試験規格・基準委員会 WG7：ベンダーエレメント試験方法基準化 メンバーの追加

・桑野 二郎 氏 (埼玉大学)

理由：基準化検討 WG では、オブザーバーとして、貴重な意見をいただいていたが、基準化 WG となったので、今後は正式なメンバーとして基準作成に参画していただくため。

委員の追加を承認した。

4. ISO 国内委員会 関係

理事会報告 (1) 国際会議派遣 **すべてメール審議済**

①会議名：第9回 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 会議出席

・出張者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 議長)。

野上委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) プロジェクトリーダー)

・派遣先：ドイツ・ベルリン

・期 間：5月5日から9日

・理 由：日本から提案した2件の ISO 案 (スクリーニング方法一般に関するガイドラインおよび重金属向けケイ光 X 線検出法) の ISO 化を同会議で審議するとともに、本年、新規提案を予定している別途2件について、事前の説明をおこないます。

・費 用：経済産業省

②第35回 CEN/TC 292/WG 5 会議出席

・派遣先：ドイツ・ハーデン

・出張者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 議長)

・期 間：5月16日から20日

・理 由：日本から提案した2件の ISO 案のうち、スクリーニング方法一般に関するガイドラインについては、当該 CEN でも廃棄物向けの類似したガイドラインが整備されようとしています。そこで、ISO 案と CEN 案との整理をするため、この会議に出席するものです。なお出張者は、この委員会 (CEN/TC 292/WG 5) の連絡委員を発令されており、公式の身分のもと、出席要請を受けているものです。

・費 用：経済産業省

③CEN/TC 341/WG 6 会議への出席

・派遣先：ロンドン (英国)

・出張者：豊田浩史委員 (長岡技術科学大学)

・期 間：本年5月31日～6月3日 (会議日：6月1, 2日)

・理 由：CEN/TC341/WG6 (Laboratory tests on soils：室内土質試験) において、12の室内土質試験の ISO 規格の策定が行われてきている。昨年度行われた第1回会議と第2回会議は、それぞれ学会誌 (Vol.57, No.9, pp.40-41.; Vol.58, No.3, p.63.; Vol.58, No.4, p.42.) において報告しているとおりである。日本はこれらの中で11の規格・基準を有しているため、会議において積極的に意見を発し、我が国への影響がないように対策を進めておく必要がある。この度、第3回目の会議となるが、今回から議長が交代するため、会議に出席し、今後の動向を把握しておく必要がある。

・費 用：規格協会 (半額補助) および地盤工学会 ISO 対応費

④CEN/TC 345 年次総会・CEN/TC 292 年次総会出席

・派遣先：ベルギー・ブリュッセル

・出張者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 議長)

・期 間：6月8日～12日

・理 由：日本から提案した2件の ISO 案 (スクリーニング方法一般に関するガイドラインおよび重金属向けケイ光 X 線検出法) については、審議が順調にすすんでおりますが、ISO と CEN (欧州規格) との間に、相互連絡に係る協定があり、それぞれの委員会での規格化状況を相手方に報告する義務を互いに負っています。今回は、この報告のために関連

CEN の年次総会に出席するものです。

なお出張者は、この委員会（CEN/TC 292 および CEN/TC 345）の連絡委員を発令されており、公式の身分のもと、出席要請を受けているものです。

- ・費用：経済産業省

継続審議 (2) ISO 国内委員会改革案について

(資料-22.2.4)

ISO 活動の活性化に向けて、改革案が岸田委員より示された。国内基準の作成・維持管理を担当する常設委員会（その下の WG）と ISO 国内委員会で円滑な情報共有をするためにはどうすればよいか議論がなされた。組織変更も含まれるため、9月開催の ISO 国内委員会で議論を経て、再度基準部にて議論するものとする。

- 5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし。
- 6. 室内試験規格・基準委員会 関係
特になし。
- 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
特になし。
- 8. 地盤設計・施工基準委員会 関係
特になし。
- 9. 販売促進 WG
特になし。
- 10. 基準部所管刊行物
特になし。
- 11. その他
特になし。

報告事項

- 1. 理事会（5月14日）、総会（5月27日）開催報告

(資料-22.2.5)

ISO 化請願企業からの醸金に関して理事会で報告したこととその後の経過について高橋部長より説明がなされた。

- 2. 全体関係

特になし。

- 3. 部会・委員会関係

- (1) ISO 国内委員会

理事会報告 ① 平成 22 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	×				
・三菱総合研究所（回答作成）	60 万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	175 万円				(資料-22.2.6)
・経済産業省		320 万円	○		
小計	235 万円	320 万円			
合計	555 万円				

重点 TC 等国際会議派遣事業の年度計画が示され、ISO/TC 190/SC3 を含め 5 件の派遣（予算額：175 万円）が認められた。その中で今後規格化されようとしている内容が、国内審議団体である地盤工学会で基準化されていないことについての質問があったため、ISO 国内委員会で確認を行うこととなった。

- ② H22 第 1 回委員会（6月17日開催）報告等

(資料-22.2.7)

基準部に関連する事項について報告があった。

- (2) 地盤工学表記法委員会

特になし。

- (3) 室内試験規格・基準委員会

①会員からの質問の回答

(資料-22.2.8)

赤本の解説文の中の「 D_{20} と透水係数の関係」についての正誤について報告があり、HPで早急に正誤表に追記する旨の報告があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① H22 第1回委員会 (5月11日開催) 報告

(資料-22.2.9)

第1回委員会議事録を基に活動報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進 WG

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

(資料-22.2.10, 回覧資料-1)

第28回土木技術専門委員会 (利藤委員出席) の議事録が示された。

●H22年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	高橋 邦夫	4/12, 6/18
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 (代行: 木幡) 平田 健正 (坂井宏行) 三木 博史	6/17 6/17 4/27 幹事会, 5/31 幹事会 4/15, 4/26 打合, 5/14, 6/2, 6/30
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 (土と岩) ・WG2 化学特性 (H17 化学試験) ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 (土と岩) ・WG5 安定化・締め固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG8 特殊土 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (細野高康) (太田岳洋) (藤原照幸) (仙頭紀明) (高木宗男) (椋木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	7/21 6/23
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 (第3編) ・WG2 ボーリング・サンプリング (第4,5編) ・WG3 地下水 (第7編) ・WG4 サウンディング (第6編) ・WG5 載荷試験 (第8編) ・WG6 現場密度試験 (第9編) ・WG7 現地計測 (第10編) ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング (第11編) ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 (第1,2編) ・WG10 地盤環境調査 (第12編) ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝 藤井 衛 北村 良介	5/11, 9/28 6/23 6/3 5/21, 7/8 5/28, 6/11 打合, 7/26 5/6, 6/4, 8/6 5/14, 7/23 6/21 5/11, 7/13 5/24, 9/14
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	5/18 幹事会, 7/27

地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (鈴木明夫)	

5. その他

- 1) 理事会（平成22年 月 日（ ）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成22年 月 日（ ）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 22年度第3回：平成22年9月15日（水）14:00時～
（対応理事会 H22.9.24）
- ・ 22年度第4回：平成22年 月 日（ ）14:00時～
（対応理事会 H22.9.24 or 11.26）

☆ 平成22年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

① 4月23日（金）

② 5月14日（金）

③ 5月27日（木）総会/理事会

① 6月25日（金）

④ 7月23日（金）

⑤ 9月24日（金）

② 10月22日（金）

⑥ 11月28日（金）

③ 12月24日（金）

⑦ 1月28日（金）

⑧ 3月18日（金）

④ 2月25日（金）

⑨ 4月22日（金）

⑩ 5月13日（金）

⑪ 5月30日（月）総会/理事会